

「変形体の力学」第2回 演習問題 解答例

1.

アルミの棒の長さを L , 半径を a とし, おもりによる力を $F = mg$ とすると, 単位面積あたりに加わる力は $F/(\pi a^2)$ である. したがってこの圧縮による長さ方向の変形 δL は,

$$\begin{aligned} Y \frac{\delta L}{L} &= \frac{F}{\pi a^2} \\ \therefore \delta L &= \frac{FL}{\pi a^2 Y} \\ &= \frac{mgL}{\pi a^2 Y} \\ &= 1.8 \times 10^{-7} \text{ m} \end{aligned} \quad (1)$$

となる. 半径の変形 δa は,

$$\begin{aligned} \frac{\delta a}{a} &= \sigma \frac{\delta L}{L} \\ \therefore \delta a &= \sigma \frac{\delta L}{L} a \\ &= 3.1 \times 10^{-9} \text{ m} \end{aligned} \quad (2)$$

となる.

2.

棒の長手方向を x 軸にとり, 棒の両端の x 座標をそれぞれ $x = 0, L$ とすると,

$$\begin{aligned} t_{xx} &= Y \frac{\partial u_x}{\partial x}, \\ t_{yy} &= t_{zz} = t_{xy} = t_{yz} = t_{zx} = 0 \end{aligned} \quad (3)$$

となる. このとき, u_x に関する運動方程式は,

$$\rho \frac{\partial^2 u_x}{\partial t^2} = \frac{\partial t_{xx}}{\partial x} \quad (4)$$

となる. 式 (3), (4) より,

$$\rho \frac{\partial^2 u_x}{\partial t^2} = Y \frac{\partial^2 u_x}{\partial x^2} \quad (5)$$

が得られる. 式 (5) の解を,

$$u_x(t, x) = \sin(\omega t + \phi) f(x) \quad (6)$$

と正弦振動を仮定して求める. これを式 (5) に代入すると,

$$\frac{d^2 f}{dx^2} = -\frac{\rho}{Y} \omega^2 f \quad (7)$$

なので, $k = \sqrt{\rho/Y} \omega$ とおくと,

$$f(x) = A \cos kx + B \sin kx \quad (8)$$

となる. 境界条件は, 端面での応力の法線成分が 0 なので, $f'(0) = f'(L) = 0$ である. $f'(0) = 0$ より, $B = 0$. $f'(L) = 0$ より, $A \sin kL = 0$. $A = B = 0$ 以外の解を考えるので,

$$k_n = \frac{n\pi}{L} \quad (n = 1, 2, 3, \dots) \quad (9)$$

となる. この k_n から固有振動数が決まり,

$$\begin{aligned} f_n &= \frac{1}{2\pi} \omega_n \\ &= \frac{1}{2\pi} \sqrt{\frac{Y}{\rho}} k_n \\ &= \frac{n}{2L} \sqrt{\frac{Y}{\rho}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots) \end{aligned} \quad (10)$$

となる. これより, 最低の固有振動数は $n = 1$ のときで,

$$\begin{aligned} f_1 &= \frac{1}{2L} \sqrt{\frac{Y}{\rho}} \\ &= 2.5 \times 10^4 \text{ Hz} \end{aligned}$$

と求まる.

3.

$$\begin{aligned} I &= \iiint y^2 dy dz \\ &= \int \int (r \cos \theta)^2 r dr d\theta \\ &= \int_0^{2\pi} \cos^2 \theta d\theta \int_0^a r^3 dr \\ &= \pi \times \frac{a^4}{4} \\ &= \frac{\pi a^4}{4} \end{aligned} \quad (11)$$

4.

微小変形における微小区間のモーメントのつりあいの式

$$IY \frac{d^3 \xi}{dx^3} + F_y - \frac{d\xi}{dx} F_x = 0 \quad (12)$$

を考える。この問題では $F_x = 0, F_y = mg$ である。したがって、式 (12) の一般解は、

$$\xi(x) = -\frac{mg}{6IY}x^3 + c_0 + c_1x + c_2x^2 \quad (13)$$

となる。次に境界条件を考える。両端の x 座標を、固定支持の側を $x = 0$ 、おもりの側を $x = L$ とすると、

$$\xi(0) = 0 \quad (14)$$

$$\xi'(0) = 0 \quad (15)$$

$$\xi''(L) = 0 \quad (16)$$

が境界条件となる。式 (14) より $c_0 = 0$ 、式 (15) より $c_1 = 0$ 、式 (16) より $c_2 = mgL/2IY$ が得られ、

$$\xi(x) = -\frac{mg}{6IY}x^3 + \frac{mgL}{2IY}x^2 \quad (17)$$

を得る。したがって、棒の端の変位量は、

$$\begin{aligned} \xi(L) &= -\frac{mg}{6IY}L^3 + \frac{mg}{2IY}L^3 \\ &= \frac{mgL^3}{3IY} \\ &= \frac{4mgL^3}{3\pi a^4 Y} \quad \left(\because I = \frac{\pi a^4}{4} \right) \\ &= 9.5 \times 10^{-5} \text{ m} \end{aligned}$$

となる。